

こいけだより

北九州市立小池特別支援学校

校長 村上 勝

令和6年12月23日【6号】

学校教育目標

「児童生徒の自立と社会参加に向け、一人一人の能力や可能性を伸ばし、自分らしく生きがいをもって生活していく力の育成」

今日で後期の前半が終了します。明日から15日間の冬休みです。ご家族や親せき、友だちと外へ出かけることが増える時期です。くれぐれも安全に気を付けて過ごしてください。先日は、北九州市で大変痛ましい事件が起きました。みなさんの中には不安な気持ちになった人も多かったでしょう。みなさんが安心して過ごせるために、これからも大人たちが力を合わせてみなさんを守ります。少しの不安でも、いつでも相談してください。

こころつながるメッセージ

何となく不安になったり、心が苦しくなったりしている人がいたら、ぜひ、次のことを思い出してください。

1 いつでも見守っています。

- おうちの方や先生たち、地域の方々が、いつでも見守っています。登下校中や外出する時の行き帰りなどで、困ったことがあれば、すぐに助けを求めてください。
- 例えば、近くのお店や郵便局、市民センター等の公共施設にも、助けを求めてよいです。また、走っているタクシーの運転手さんも助けてくれます。

2 いつでも相談してください。

- 不安なことは、いつでもおうちの方や先生たちなど、周りの大人に相談してください。
- その他にも、冬休み中も利用できる、たくさんの「相談窓口」があります。先日、配られた、「こころつながる相談窓口」に、いつでも相談してください。おうちの方にもお知らせしています。

3 心が苦しい時は伝えてください。

- 不安な気持ちや心配ごと、心のモヤモヤは誰かに話すことで、気持ちが楽になることがあります。つらい時に、SOS（助けてほしいということ）を伝えることは恥ずかしいことではなく、とても大切なことです。
- 誰にでも心が苦しいときがあり、その苦しみはいつか必ず終わりがきます。苦しいときは、ぜひ、誰かに伝えてください。

※ 来年の1月8日(水)が、後期後半開始の日です。みなさんと元気に会えることを願っています。